

現代かなづかい

(二)

一、このかなづかいは、大體現代語音にもとづいて、現代語をかなで書きあらわす場合の準則を示したものである。

一、このかなづかいは主として現代文のうち、口語體のものに適用する。

一、原文のかなづかいによる必要のあるもの、またはこれを變更しがたいものは除く。

第十五 トおよび下の長音はとう、どうと書く。

例

一、たうをとうと書くもの

とうげ (峠) たとうがみ (畳紙)

うとう (打たう) かとう (勝たう) たとう (立たう)

いとう (痛う) かとう (堅う)

さとう (砂糖) ねつとう (熱湯) おうとう (按桃)

二、たふをとうと書くもの

とうべん (答辨) とう (利)

三、だうをどうと書くもの

どうろ (道路) こうどう (講堂) かいどう (海菜)

ぶどう (葡萄)

第十六 ノの長音は、のうと書く。

例

一、なうをのうと書くもの

しのう (死なう) あぶのう (あぶなう)

二、なふをのうと書くもの

のうにゆう (納入)

三、のふをのうと書くもの

きのう (昨日)

第十七 ホおよびボ、ポの長音は、ほう、ぼうと書く。

例

一、はうをほうと書くもの

ほうき (箒) ほうこく (報告) こくほう (國寶)

ほうび (褒美)

二、はふ (またはほふ) をほうと書くもの

ほうる (投る)

ほうりつ (法律) ほうし (法師)

三、ばうをぼうと書くもの

はつぼう (八方)

すつぼう (酸っぱう)

四、ばふ (またはほふ) をぼうと書くもの

せつぼう (説法)

五、ばうをほうと書くもの

あそぼう (遊ばう) とぼう (飛ばう) はこぼう (運ばう)

ほうどう (暴動) ほうけん (冒險) ほうす (坊主)
 六、ばふ (またはぼふ) をほうと書くもの
 びんほう (貧乏)

第十八 モの長音は、もうと書く。

例

まうをもう 書くもの
 もうける (儲ける) もうす (申す) やすもう (休まう)
 たのもう (頼まう) あもう (甘う) せもう (狭う)
 もうはつ (毛髪)

第十九 ヨの長音はようと書く、

例

一、やうをようと書くもの
 ようか (八日) はよう (早う) ようやく (漸く)
 ようもう (羊毛) かいよう (海洋) たいよう (太陽)
 二、えうをようと書くもの
 にちよう (日曜) ようはい (遙拜)
 ようきよく (謡曲) ようねん (幼年)

三、えふをようと書くもの

こうよう (紅葉)

第二十 ロの長音は、ろうと書く。

例

一、らうをろうと書くもの
 いのろう (祈らう) かえらう (歸らう)

くろう (暗う) かりう (辛う) あろう (粗う)
 ろうじん (老人) ろうどう (勞働) めいろう (明朗)
 ろうか (廊下) たろう (太郎)
 二、らふをろうと書くもの
 ろうそく (臘燭)

第二十一 キェおよびギェの長音は、きゆう、ぎゆうと書く。

例

一、きうをきゆうと書くもの
 おうきゆう (大きう)
 きゆうよう (休養) きゆう (灸)
 二、きふをきゆうと書くもの
 きゆうだい (及第) こきゆう (呼吸)

三、ぎうをぎゆうと書くもの

ぎゆうにゆう (牛乳)

第二十二 シェおよびジェの長音はしゆう、じゆうと書く。

例

一、しうをしゆうと書くもの
 しゆうと (舅) しゆうとめ (姉)
 あたらしゆう (新しう) すずしゆう (涼しう)
 しゆうよう (修養) ゆうしゆう (優秀)
 しゆうぎよう (就業) きゆうしゆう (九州)
 しゆうい (周圍) こんしゆう (今週)
 二、しふをしゆうと書くもの
 しゆうちやく (執着) しゆうちゆう (集中)

れんしゆう (練習) へんしゆう (編輯)

三、じゆうをじゆうと書くもの
じゆうるい (獸類)

四、じふをじゆうと書くもの
じゆう (十) ぼくじゆう (墨汁)

五、ぢゆうをじゆうと書くもの
じゆうやく (重役) じゆうきよ (住居)

第二十三 チュの長音は、ちゆうと書く。

例

一、ちうをちゆうと書くもの
はくちゆう (白晝) うちゆう (宇宙)

第二十四 ニエの長音は、にゆうと書く。

一、にうをにゆうと書くもの
にゆうわ (柔和)

二、にふをにゆうと書くもの
にゆうがく (入學)

第二十五 ビュおよびビュの長音は、ひゆう、びゆうと書く。

例

一、ひうをひゆうと書くもの
ひゆうが (日向)

二、びうをびゆうと書くもの
ごびゆう (誤謬)

第二十六 リュの長音は、りゆうと書く。

例

一、りうをりゆうと書くもの
りゆうこう (流行)

二、りふをりゆうと書くもの
こんりゆう (建立) いちりゆう (一粒)

第二十七 キョおよびギョの長音は、きよう、ぎようと書く。

例

一、きやうをきようと書くもの
きようだい (兄弟) きようそう (競走)

きようだい (鏡臺) きようりよく (強力)
とうきよう (東京) きようもん (經文)

こきよう (故郷) きようおう (響應)

二、けうをきようと書くもの
きよういく (教育) てつきよう (鐵橋)

三、けふをきようと書くもの
きよう (今日) きようりよく (協力) きようき (狹氣)

四、きやうをきようと書くもの
しゆきよう (修行) にんぎよう (人形)

五、げうをぎようと書くもの
こんぎよう (今晚)

六、げふをぎようと書くもの
ぎようむ (業務)

第二十八 ショおよびジョの長音は、ししよう、じしようと書く。

例

一、しやうをししようと書くもの

しようじき (正直) しようばい (商賈) ふしょう (負傷)
いっしょう (一生) しょうか (唱歌) しょうらい (將來)
ぶんしょう (文章)

二、せうをしようと書くもの

しょうせつ (小説) しょうねん (少年)
しょうしゆ (召集) しょうだい (招待)
びしょう (微笑) しょうしつ (燒矢)

三、せふをしようと書くもの

こうしょう (交渉)

四、じやうをしようと書くもの

じようず (上手) かんじよう (感情) じようたい (状態)
じようほ (讓歩) じようじゆ (成就) じんじよう (尋常)

五、ぢやうをしようと書くもの

しじよう (市場) れいじよう (令嬢) じようぶ (丈夫)

六、せうをしようと書くもの

そうじよう (騷擾)

七、でうをしようと書くもの

さんじよう (三條)

八、でふをしようと書くもの

ろくじよう (六疊) いちじよう (一帖)

第二十九 チヨの長音は、ちようと書く。

例

一、ちやうをちようと書くもの

ちようから (町會) ちよう (陽) ちようちん (提燈)

二、てうをちようと書くもの

ちようるい (鳥類) ちようしよく (朝食)

三、てふをちようと書くもの

ちよう (驟)

第三十 ミの長音はにようと書く。

例

ねうをにようと書くもの

によう (尿)

第三十一 ヒヨのおよびビヨの長音はひよう、びようと書く。

例

一、ひやうをひようと書くもの

ひようばん (評判) たいひよう (大兵)

二、へうをひようと書くもの

にひよう (二俵) とうひよう (投票) ひよう (豹)

三、びやうをびようと書くもの

びようぶ (屏風) びようき (病氣) びよう (鏝)

四、べうをびようと書くもの

れいびよう (靈廟)

第三十二 ミヨの長音は、みようと書く。

例

一、みやうをみようと書くもの

みょうにち (明日) ミョウニチ じゆみょう (壽命) ジユミョウ
 みょうだい (名代) ミョウダイ
 二、めうをみょうと書くもの
 みょうじ (苗字) ミョウジ
 第三十三 リヨの長音は、りようと書く。

例

- 一、りやうをりようと書くもの
 ぜんりよう (善良) ゼンリョウ りようほう (兩方) リョウハウ りようど (領土) リョウド
 せいりよう (清涼) セイリョウ ぶんりよう (分量) ブンリョウ
 二、れうをりようと書くもの
 りようり (料理) リョウリ りよう (寮) リョウ
 三、れふをりようと書くもの
 りよう (獵) リョウ

注意

「クッ・カ」「グッ・ガ」および「ヂ・ジ」「ヅ・ズ」をいり分けている地方に限り、これを書き分けてもさしつかえない。

新舊かなづかい対照表

ゑゐ	舊かなづかい	發	音	新かなづかい
エイ				
えい				

まう、 ばう、 はう、 ほう、 まう、 ばう、 はう、 ほう、	はなう、 だう、 たう、 はのう、	さう、 たさう、 ざさう、 はのう、	さう、 たさう、 ざさう、 はのう、	こがう、 さう、 たさう、 ざさう、 はのう、	こがう、 さう、 たさう、 ざさう、 はのう、	かう、 くわう、 くわう、 かう、	はう、 わう、 わう、 あう、	あう、 いふ、 あふ、	舊かなづかい
モボボ オオオ	ホドト オオオ	ソソ オオオ	ゴオ	コオ	オオ	ユウ	發	音	
も う	ほ う	の う	ど う	と う	そ う	ご う	こ う	お う	ゆう
新かなづかい									

二

ほへふふひはづちぐくを わわ	發	音
オエオウイワズジガカオ		
おえおういわすじがが		

やう、えう えふ、らう、らふ	ヨオ ロオ	よう ろう
-------------------	----------	----------

三

きう、きふ しう、しふ ちう、ぢふ、ぢやう ひう、にふ りう、りふ	發 音	新かなづかい
キニウ シニウ チニウ ヒニウ リニウ	發 音	新かなづかい
きゆう しゆう ちゆう ひゆう りゆう	發 音	新かなづかい

きやう、げう、げふ しやう、せう、せふ じやう、ぢやう、ぜう ぢやう、てふ、てふ ちやう、てふ、てふ ねやう、へう ひやう、へう びやう、へう みやう、へう りやう、へう	發 音	新かなづかい
キヨオ シヨオ ジヨオ チヨオ ニヨオ	發 音	新かなづかい
きよう しよう じよう ちよう ひよう みよう りよう	發 音	新かなづかい

○そ え が き

げんだいかなづかいは、つまり、くちでいうはつおんのま
まをもとにしたもので、むかしからつたわつてゐるめんどう
なかなづかいを、おもいきり、かんたんにしたのです。ぶん
かはなかがたいせつなものですから、それをあらわすふちよ
うにくらうするのは、むだなことです。したがつて、ことば
も、できるだけはつおんどおりで、わかりやすいことばをつ
かいたいものです。むずかしいじゆくこは、きんもつです。
それとどうじに、かんじをへらすこともひつようです。かん
じをみなやめることも、どうかというので、かんじせいげん
がきめられました。それは、ようちえんのことにもはまだか
んけないことですが、わたくしたちは、そのせいげんをま
もるべきです。

かんじや、かなづかいの、むずかしいために、こどもはど
んなにむだなぼねがおれるかしれません。また、ぶんかをひ
るめるのに、どんなにじやまかされません。それがやめられ
るのは、まことによるこばしいことです。なおついでに、か
きをえますが、これからはていがくねんでも、かたかなでな
く、ひらがながおしえられます。ようちえんでも、かなをか
くときは、ひらがなにしましょう。

(へんしゆうしや)